



Expand Your World

子どもたちが自らの世界を広げ、
力強く輝いてほしいという
願いがこめられています。

24号

「数」の現在地と、2年生のゴール

今回は、算数の「数」の力について、今どこまで来ていて、どこを目指しているのかをお伝えします。
2年生の標準ゴールは、暗算検定でいうと11級の「穴あき九九」まで、2分以内にできることです。すでにゴールを越えて先に進んでいる子もありますが、ひとまずの目安はここになります。

○なぜ、速さを求めるのか

計算が速くなることだけが目的ではありません。基本の計算が考えなくてもできるようになると、頭の中に「考えるための余白」が生まれます。3年生以降、わり算や文章題、複雑な計算に出会ったとき、この余白がある子は、問題の中身そのものに集中できます。今取り組んでいるのは、その土台づくりです。

○九九は重点項目

九九は、クォーターごとに段階を踏んで進めています。

☆九九プリント

- ・ 1クォーター 順番九九 4分以内
- ・ 2クォーター 段ごとばらばらA・B それぞれ4分以内
- ・ 3クォーター バラバラ九九 4分以内
- ・ 4クォーター 穴あき九九 4分以内 ※暗算検定11級と同じプリント

順番で言えるだけでは、実際の計算では使えません。「 7×6 は？」と単独で聞かれて出てくる状態まで持っていくために、この順で積み上げています。

なお、2クォーターの必達課題は、段ごとばらばらのプリントA・Bが、それぞれ4分以内・1問ミスまでで仕上げられることです。必要な子には、できるだけこまめにプリントをお渡しするようにしています。

○暗算検定の級について

- ・ 5級 足し算（くり上がりあり）
- ・ 6級 引き算（くり下がりあり）
- ・ 7級 足し算（2けた＋1けた）
- ・ 8級 引き算（2けた－1けた）
- ・ 9級 順番九九
- ・ 10級 バラバラ九九
- ・ 11級 穴あき九九

11級の「穴あき九九」は、「 $3 \times \square = 12$ 」のように、答えから逆にたどる形です。これはそのままわり算の考え方につながります。2年生のうちにここまで到達しておく、3年生の学習がぐっと楽になります。
まだ届いていない子も、心配はいりません

タイムが基準に届いていない子も、もちろんいます。ただ、この力は毎日少しずつ触れることで、ある時期を境に一気に伸びるものです。長時間まとめてやるより、1日5分を続けるほうが確実に力になります。学校でも、数の時間を中心に取り組んでいきます。

いつも家庭学習を支えてくださり、ありがとうございます。